

地図界のカリスマによる「地図鉄」のすすめ☆
地図上の鉄道、そこには隠されたドラマがあった！

あなたは「何鉄」？ 乗り鉄、撮り鉄ほか多彩な鉄道ファンへの新提案！
今尾恵介著『地図鉄のすすめ』を1月21日に発売

～当代随一の「地図鉄」著者が日本の鉄道に隠されたドラマを地図から解き明かす！～

株式会社昭文社ホールディングス(本社:千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード:9475)とその子会社である株式会社昭文社(本社:千代田区麹町、代表取締役 清水康史、以下昭文社)は、地図&鉄道関連のカリスマ、今尾恵介氏の最新作『地図鉄のすすめ』を、2022年1月21日より発売することをお知らせいたします。

本書は、様々な形態のファンを持つ鉄道分野にあって「地図×鉄道」に特化した「地図鉄」を提案、それぞれの鉄道に秘められた「物語」を地図から読み解き、展開しています。「地図鉄」今尾ワールドの集大成として、これまで発表してきた内容をブラッシュアップしてお届けする、待望の最新刊です。



<表紙>

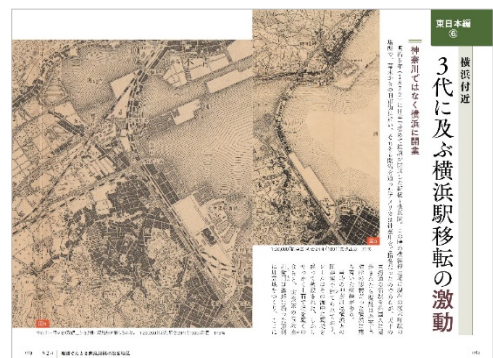


<代表誌面>

)) 企画説明 ((

鉄道の楽しみ方、地図の楽しみ方には実にいろいろなスタイルがありますが、地図で鉄道路線を眺めて、時空を超えたロマンに思いを馳せ、楽しむのがズバリ「地図鉄」です。

誰もがふだん何気なく乗っている鉄道。険しく山がちな日本の地形に鉄道が敷設されるまでには、技術的な事情から人文的な事情まで、さまざまな要因が影響していました。本書はそんな日本の鉄道に隠されたドラマを、ふだんに掲載した地図をもとに解き明かしていきます。極上の鉄道&地図エンターテインメントをご堪能ください。



<3代に及ぶ横浜駅移転の激動>

)) 本書の構成 ((

|| 今尾恵介所蔵「お宝」鉄の地図

|| 第1部 地形で線路を楽しむ

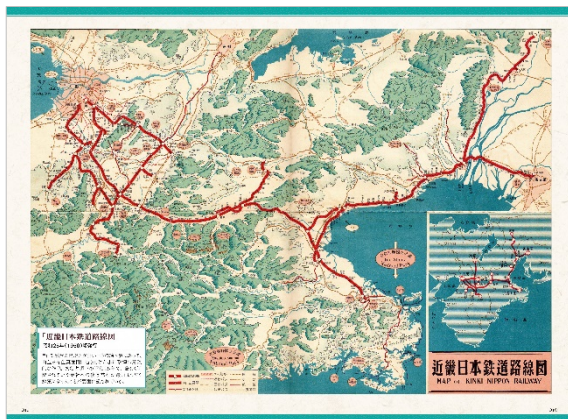
◆河川編 ◆海岸編 ◆山岳編

|| 第2部 地図でたどる鉄道路線の激変地区

◆東日本編 ◆西日本編

|| 第3部 地図で見る幻の鉄道路線

◆ウソが描かれた路線編 ◆未成線編 ◆両岸鉄道編 ◆遊郭路面電車編



<近畿日本鉄道路線図>



<連続する鋸歯状半島を通る>

)) 著者プロフィール ((

|| 今尾 恵介 (いまお けいすけ)

1959年横浜市生まれ。中学生の頃から国土院発行の地形図や時刻表を眺めるのが趣味。音楽出版社勤務を経て、1991年にフリーランサーとして独立。旅行ガイドブック等へのイラストマップ作成、地図・旅行関係の雑誌へ連載を開始後、地図・地名・鉄道関係の単行本の執筆を精力的に手がける。現在、日本地図センター客員研究員、地図情報センター評議員、日本地図学会評議員。著書に『日本鉄道旅行地図帳』『日本鉄道旅行歴史地図帳』(いずれも監修、新潮社)、『カラー版東京凸凹地形散歩』(平凡社)、『地図帳の深読み』(帝国書院)など多数。

)) 商品概要 ((

商品名 : 『地図鉄のすすめ』
体裁・頁数 : A5判、本体176頁
発売日 : 2022年1月21日
 全国の主要書店で販売
定価 : 1,760円(本体1,600円+税10%)
出版社 : 株式会社 昭文社